



2022年4月28日

各位

会社名 栄研化学株式会社
代表者名 代表執行役社長 納富 継宣
(コード: 4549 東証プライム)
問合せ先 専務執行役
経営管理統括部長 渡 一
(TEL. 03-5846-3379)

2022年3月期連結業績予想値と実績値との差異及び剰余金の配当(増配)に関するお知らせ

当社は、2022年4月28日開催の取締役会において、2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績値を踏まえ、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当(期末配当)を下記のとおり決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績値との差異の件

(1) 2022年3月期連結業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日～2022年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 親会社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 40,400	百万円 6,370	百万円 6,430	百万円 4,910	円 銭 132.83
実績値(B)	百万円 42,996	百万円 8,387	百万円 8,508	百万円 6,218	円 銭 168.28
増減額(B-A)	百万円 2,596	百万円 2,017	百万円 2,078	百万円 1,308	
増減率(%)	6.4	31.7	32.3	26.7	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	百万円 38,667	百万円 6,612	百万円 6,808	百万円 5,044	円 銭 136.65

(2) 差異の理由

新型コロナウイルスの感染者数が増加と減少を繰り返すなか、当社は独自技術であるLAMP法を用いた迅速、簡便、高感度な遺伝子検出を実現する新型コロナウイルス遺伝子検査試薬を安定供給したことや各種検診・スクリーニングプログラムの再開や外来患者数の回復傾向を受け、当期の売上高は前回発表予想を上回りました。また、アフターコロナを想定した活動についても、コロナ禍での活動を継続せざるを得ず、販売費等の経費減少により、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を大幅に上回る結果となりました。

2. 剰余金の配当（増配）について

（1）配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年4月28日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	31円00銭	21円00銭	26円00銭
配当金総額	1,145百万円	—	960百万円
効力発生日	2022年6月6日	—	2021年6月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）理由

当社は、株主還元方針のもと、連結配当性向30%以上を目標としております。

当事業年度の期末配当金につきましては、2022年3月期の業績が前回発表予想を大幅に上回ったことを踏まえ、10円増配し1株当たり31円とさせていただくことといたしました。

（参考）年間配当の内訳

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績 (2022年3月期)	20円00銭	31円00銭	51円00銭
前期実績 (2021年3月期)	15円00銭	26円00銭	41円00銭

以 上